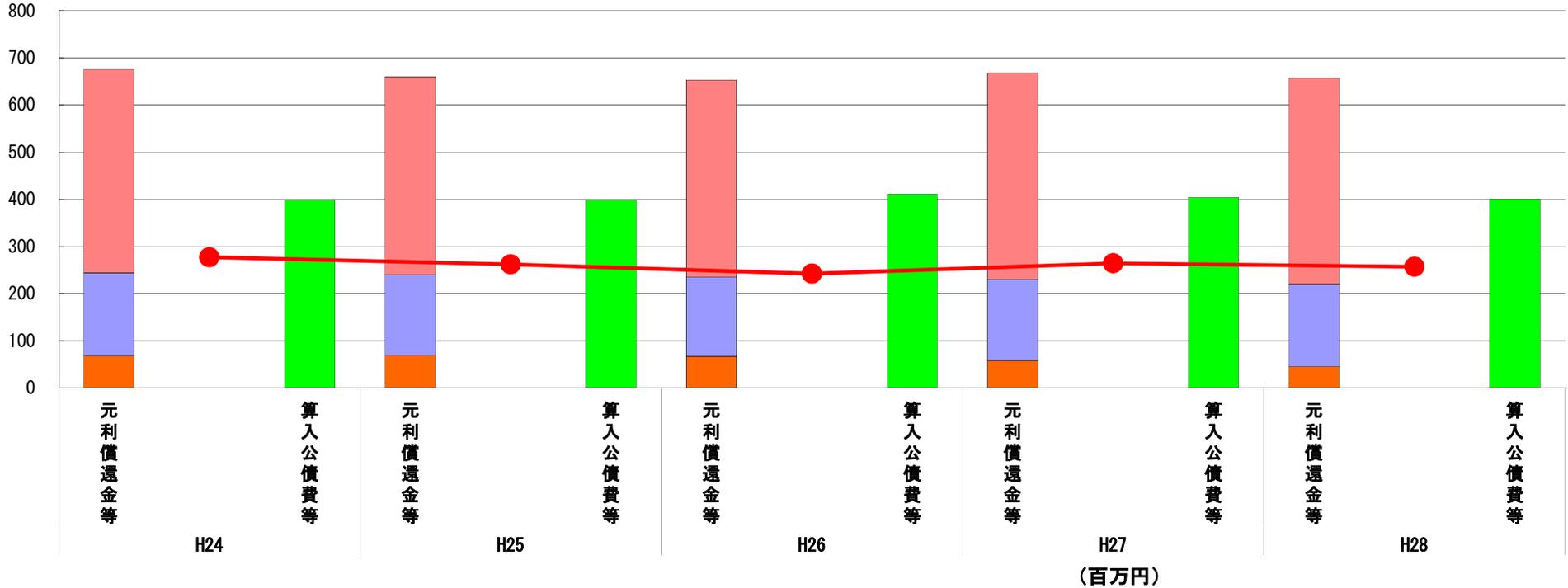


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

宮城県大郷町

(百万円)



分子の構造		年度				
		H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金	431	420	418	438	437
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	176	170	168	172	175
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	68	70	67	58	45
	債務負担行為に基づく支出額	0	0	0	0	0
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	398	398	411	404	400
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	277	262	242	264	257

分析欄

実質公債費比率は年々減少してきたが、平成28年度は前年度より0.1ポイント増の9.8%となっている。
 元利償還金については、前年度より減少したものの、統合小学校建設等に伴う地方債償還が開始により平成27年度から横ばいとなっている。
 また、公営企業債の元利償還金に対する繰入金も合併浄化槽事業の元利償還金が増加したこと等により前年度と比較すると増加している。
 今後、町道改良舗装工事、宅地分譲事業等に係る起債償還が見込まれており、地方債の新規発行抑制等引き続き健全化の維持に努める。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。